

新刊紹介



看護教員のためのデジタルツール活用法

動画で学んでオンライン授業の質向上！[Web動画付]

著 板谷智也
発行 医学書院
定価 2860円(本体2600円+税10%)

デジタルツールを使うメリットは、教員の教育業務の作業が効率化し、学生の学習効果が向上すること。そのため、本書では、オンライン教育のさまざまな場面で著者が活用しているデジタルツールとその使い方を、映像とテキストで具体的に紹介する。できるところから始めて、より複雑で面白いツールの使い方にトライしてみよう。



精神医療の専門性

「治す」とは異なるいくつかの試み

著 近田真美子
発行 医学書院
定価 2200円(本体2000円+税10%)

精神医療や看護の専門性とは何なのか。本書は、ACT(包括型地域生活支援プログラム)で行われていた、神社のお札(ふだ)を利用して精神症状を落ち着かせる、庭にシイタケの原木を持ち込んで関係性を深めるなど、一見、医療とは相容れないような不思議な実践を、現象学を用いて可視化し、精神医療の専門性を探求した記録である。



医療安全ワークブック 第5版

著 川村治子
発行 医学書院
定価 3190円(本体2900円+税10%)

厳選した必須の知識を根拠から分かりやすく解説した医療安全の定本。今版では、着実に進む医療安全対策を踏まえて記述を見直し、抗がん剤の事故対策や胃瘻、人工呼吸器、心電図モニターの管理などを追加して、最近の状況に即した内容にアップデートした。薬剤・機器の写真も刷新。看護学生、臨床看護師、教育担当者の必携書。



看護実践・教育のための測定用具ファイル 第4版

開発過程から活用の実際まで

監修 舟島なをみ
発行 医学書院
定価 5500円(本体5000円+税10%)

監修者らが開発を続けてきた看護実践・教育のための評価尺度。看護実践の質、看護職の役割遂行状況、教育活動の質、学習ニーズなど、さまざまな活動を測定する40の評価尺度、うち8尺度を新たに収載。倫理的行動の質の章も新設し、測定用具の妥当性の概念、評価方法の記述もアップデートした。尺度開発の方法を学びたい人にも最適の書。



新刊紹介



悲しみを言葉に

終末期の子どもと家族のこころのケア

著 ドロシー・ジャッド
監訳 鶴飼奈津子
訳 鈴木誠ほか
発行 誠信書房
定価 4180円 (本体3800円+税10%)

心理療法士による、白血病の再発で骨髄移植を受けたものの亡くなった7歳の男の子の最期の2か月半の記録。幼い患者の抱える恐怖や怒り、家族や医療従事者の心情、心理療法士本人のダメージを受けた心のケアについて丁寧に綴る。死が迫っている患者の心のケアの在り方に再考を促す、終末期医療に携わる専門職必読の書。

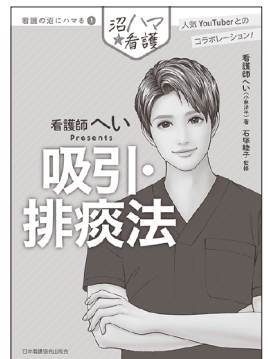


看護師へい Presents

吸引・排痰法

著 看護師へい (小林洋平)
監訳 石塚睦子
発行 日本看護協会出版会
定価 2420円 (本体2200円+税10%)

看護師なら誰もが実施する基本中の基本、吸引・排痰法。当たり前のように行っている手技だが、「この方法で合っている？」とふと疑問に思った時に開く技術の本がない。本書は、吸引や排痰法に特化して根拠から詳しく解説。YouTubeと連携しているので、分かりにくい実技も動画で学べ、その知識と技術を明日から活用できる。



死の前、「意識がはっきりする時間」の謎にせまる

「終末期明晰」から読み解く生と死とそのはざま

著 アレクサンダー・バティアーニ
訳 三輪美矢子
発行 KADOKAWA
定価 2530円 (本体2300円+税10%)

重症の認知症などでまともに話すこともできなかった人が、死の前に、昔のように生き生きと語り出すことを「終末期明晰」という。本書では、この不思議な現象はなぜ起こるのか、認知科学者が多くのエピソードを交えながら、科学的な視点から解説を試みる。また、この現象を紐解くことで生まれる可能性について論じている。



シフトチェンジをスムーズに

更年期からの体のトリセツ

不調を改善・予防するセルフトレーニングと指導

著 奥谷まゆみ
発行 日本看護協会出版会
定価 2420円 (本体2200円+税10%)

現在の体の状態は、これまでの体の使い方によってできている。うまく使うコツを身につければ、不調を改善することができる。この考えのもと、「整体トレーニング」という独自メソッドを開発。不調、不安を解消し、快適に仕事や生活を続けるための体づくりのコツを、イラストや写真、動画を使ってわかりやすく伝授する。

